

報道関係各位



(公財)山階鳥類研究所
〒270-1145 千葉県我孫子市高野山115
電話：04-7182-1101 FAX：04-7182-1106
<http://www.yamashina.or.jp>



第20回山階芳麿賞記念シンポジウム
『コウノトリ野生復帰と生物多様性の保全
～鳥類生態学と応用生態工学の出会い～』のご案内

「山階芳麿（やましな・よしまろ）賞」は、日本の鳥類の研究と保護に顕著な貢献があり、我が国の鳥学の発展に寄与された個人や団体に贈られます。山階鳥類研究所では、第20回山階芳麿賞を、江崎保男 兵庫県立大学教授・兵庫県立コウノトリの郷公園統括研究部長に贈呈することを決定いたしました。

今回の贈呈を記念して、下記のとおり、記念シンポジウム『コウノトリ野生復帰と生物多様性の保全～鳥類生態学と応用生態工学の出会い～』を開催します。1971年に日本産コウノトリは野生下で絶滅しましたが、2005年に、最後の生息地だった兵庫県北部地域で、飼育個体を野外に放つ再導入が開始されました。その後の順調な野外繁殖にともない個体数が100を越えるとともに、2017年には繁殖地が徳島県と島根県にも拡大しました。コウノトリの野生復帰は単にコウノトリという種の保全にとどまらず、里地の生物多様性復元と地域社会の活性化を目指して行われています。

洪水を防ぎながら多様な生物に生息環境を提供するにはどうしたらよいか、環境危機の時代における健全な生態系あるいは持続可能性とはいかなるものなのか、こういった課題に取り組んだ、受賞者の江崎教授を中心とする研究者たちの分野横断的な研究と実践をテーマに、シンポジウムを開催いたします。

この催しにつきまして貴媒体にて取りあげていただけますようお願いいたします。

記

第20回山階芳麿賞記念シンポジウム
「コウノトリ野生復帰と生物多様性の保全
～鳥類生態学と応用生態工学の出会い～」

日時：平成30（2018）年9月29日（土）13:30～16:00 開場 12:30
会場：東京大学農学部弥生講堂

〒113-8657 東京都文京区弥生 1-1-1 東京大学農学部
(東京メトロ南北線東大前駅徒歩1分、
東京メトロ千代田線根津駅徒歩8分)

参加費：無料 **申込み：不要**

内 容：

第20回山階芳麿賞記念シンポジウム

「コウノトリ野生復帰と生物多様性の保全

～鳥類生態学と応用生態工学の出会い～」

●講演

日本の人と自然～野生復帰からみえてくるもの～

江崎保男 (兵庫県立大学教授/
兵庫県立コウノトリの郷公園)

兵庫県立コウノトリの郷公園)

湿地とコウノトリ～大規模野外研究の成果～

佐川志朗 (兵庫県立大学教授/
兵庫県立コウノトリの郷公園)

兵庫県立コウノトリの郷公園)

●コメンタリー

萱場祐一 (国立研究開発法人土木研究所
水環境研究グループ長)

水環境研究グループ長)

●質疑応答

江崎保男・佐川志朗・萱場祐一

定 員：300名 (先着順)

問い合わせ：〒270-1145 千葉県我孫子市高野山 115

(公財)山階鳥類研究所「山階賞」係

電話：04-7182-1101 FAX：04-7182-1106

E-mail: koho@yamashina.or.jp (担当：広報担当)

主催：公益財団法人 山階鳥類研究所

共催：朝日新聞社

後援：我孫子市 (予定)

※ 受賞者の経歴・業績については下記リンクの報道発表資料 PDF をご覧ください。

http://www.yamashina.or.jp/hp/p_release/images/20180628_prelease.pdf

※ 山階鳥類研究所のウェブサイト (イベント情報) もご覧ください。

<http://www.yamashina.or.jp/hp/event/event.html>